

同時配布：奈良県庁／教育・文化記者クラブ  
橿原市政記者クラブ

報道関係者各位

2020年10月29日  
田原本町流鏝馬実行委員会

たわらもとやぶさめ  
「奈良田原本流鏝馬まつり」写真展 開催

2019年に復活を遂げた流鏝馬・次年度以降の開催を視野に



撮影：森山 雅智

田原本町流鏝馬実行委員会（会長：服部 誠、事務局：一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構内）は、昨年約 600 年ぶりに復活させた流鏝馬の開催を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送りましたが、写真を通じて流鏝馬の躍動感を来場者と共有することにより、次回開催への期待感を高め、次年度以降の開催機運を盛り上げるため写真展を開催いたします。

田原本町内の 3 会場を巡回し、来場者各自の SNS で田原本町の流鏝馬について投稿・発信いただけるよう会場に流鏝馬の顔ハメ看板を設置いたします。

写真展は一部を除き、全て写真家の森山 雅智氏撮影の作品約 30 点で構成しています。森山氏は「小笠原流 流鏝馬」（ハースト婦人画報社）の撮影を担当され、奈良県にも 2 年間の在住経験があります。伝統文化を支援する立場として応援の意味も込め、今回無償で写真画像の提供をいただきました。

本写真展の開催により、復活を遂げた流鏝馬まつりを、写真を通して 1 人でも多くの方にご覧いただき、次年度以降の再開を目指してまいります。 ※添付チラシ参照

報道関係者のお問合せ先

田原本町流鏝馬実行委員会 事務局

〒636-0300 奈良県磯城郡田原本町 193（一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構内）

TEL/FAX: 0744-33-4560

HP : <https://tawaramoton.com> E-mail: [info@tawaramoton.com](mailto:info@tawaramoton.com)

## 《開催概要》

名 称：奈良田原本流鏝馬まつり 写真展 - 復活の記憶 -

主 催：田原本町流鏝馬実行委員会（事務局：一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構内）

後 援：奈良県

観 覧 料：無料

お問合せ：（TEL/FAX）0744-33-4560 E-mail：info@tawaramoton.com

会 場：田原本町内の 3 会場を巡回予定

### ●道の駅 レストィ唐古・鍵

11月28日（土）～12月6日（日）9：00～18：00 迄（最終日は16：00 迄）

奈良県磯城郡田原本町唐古70-1

### ●田原本青垣生涯学習センター内 田原本町立図書館北入口付近

12月12日（土）～12月20日（日）9：30～17：00 迄（最終日は16：00 迄）月曜定休

奈良県磯城郡田原本町阪手233-1 田原本青垣生涯学習センター内

### ●観光ステーション磯城の里

2021年1月9日（土）～1月31日（日）9：00～17：00 迄（最終日は16：00 迄）火曜定休

奈良県磯城郡田原本町193

## ■写真家 <sup>もりやま まさと</sup>森山 雅智氏 プロフィール

東京都出身

公式サイト [www.ra-jin.com](http://www.ra-jin.com)

## ■「奈良田原本流鏝馬まつり」とは

2019年12月1日（日）に、池神社（法貴寺）で流鏝馬の無事執行を祈る神事が行われ、その後会場となる唐古・鍵遺跡史跡公園まで装束を着用した所役（流鏝馬実施の関係者及び地域住民の方々）が巡行、史跡公園内の特設の馬場で流鏝馬を行いました。流鏝馬は弓馬術礼法小笠原教場により実施されました。

流鏝馬の歴史が記された「長川流鏝馬日記（1384年）」には、本町在住の武士団である長谷川党が法貴寺を出発し、春日若宮おん祭に「流鏝馬」を奉納していたことが記載されています。この歴史から、田原本町流鏝馬実行委員会を立ち上げ、町に「流鏝馬」を蘇らせる「流鏝馬まつり」を企画。地元を中心に企業からの協賛に加え、ガバメントクラウドファンディングも募り開催経費の資金調達を行いました。

開催当日は町内外より約1万人の来場者が集まり、在関西の総領事や関係者、留学生など外国人も来場。その模様はテレビ・新聞等のメディアのみならず、SNSで国内外へ発信されました。

## ■田原本町流鏝馬実行委員会について

昨年の第1回開催時は田原本町役場内に委員会を設けましたが、本年より一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構内に事務局を移行いたしました。